

観光庁 説明資料

観光庁の取組

酒蔵ツーリズムの推進

- 「テーマ別観光による地方誘客事業」を活用して、日本酒蔵ツーリズム推進協議会の取組を平成28年度から3年間に渡って継続支援。平成30年度は、酒蔵ツーリズムのモデル地域を選定し、ツアー商品造成・プロモーション等を実施した。
- 平成31年度は「地域観光資源の多言語解説整備支援事業」において、國酒である日本酒や泡盛等に関する魅力的な多言語解説文の整備をそれぞれ支援する予定。
- JNTOの取組として、国内外での日本産酒類の魅力発信を通じた訪日PRを継続実施。



酒蔵免税制度の活用推進

- 観光庁作成の「JAPAN TAX-FREE Shopping Guide」を改訂し、酒税免税（輸出酒類販売場）制度についても記載を追加。JNTOのホームページにて掲載・配布しているほか、外国人向けに酒蔵訪問のレポートやコラム等も掲載。
- 同じくJNTOのホームページにて公開している消費税免税店の許可事業者一覧に、新たに酒税免税の 카테고리を創設。酒税免税（輸出酒類販売場）の許可を得た上で掲載を希望する事業者については、当該HPに登録が可能。



訪日外国人旅行者の消費動向分析

- 平成29年度事業として、国税庁及び日本酒造組合中央会と連携し、訪日外国人受入に関して酒蔵と外国人へ調査を実施。消費動向のほか、場内案内の整備有無や多言語対応等について調査した。
- 当該調査結果を踏まえ、平成30年度は沖縄県において泡盛の酒蔵の外国人受入体制整備のモデルケース形成事業を実施。外国人受入にあたり、主に多言語対応の必要性について調査・検討した。

テーマ別観光による地方誘客事業

国内外の観光客が全国各地を訪れる動機を与えるため、**ある一つの観光資源**に魅せられて日本各地を訪れる「**テーマ別観光**」のモデルケースの形成を促進し、地方誘客を図る。

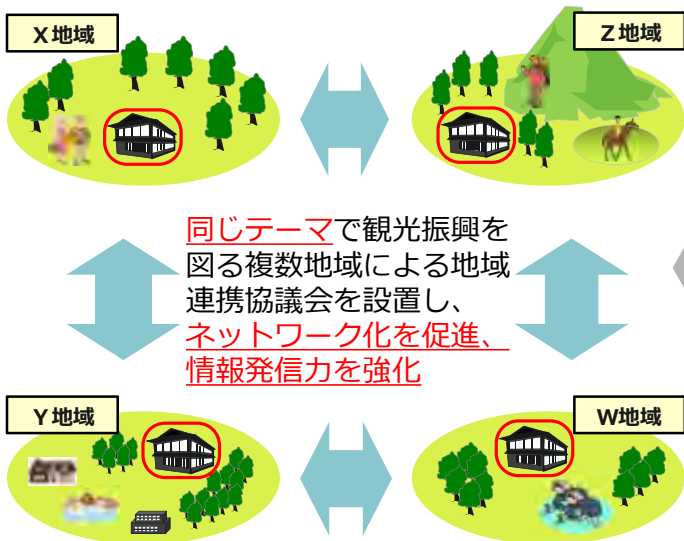
これまでの選定テーマ

- ・エコツーリズム
- ・街道観光
- ・酒蔵ツーリズム
- ・社寺観光 巡礼の旅
- ・明治日本の産業革命遺産
- ・ロケツーリズム
- ・アニメツーリズム
- ・古民家等の歴史的資源
- ・サイクルツーリズム
- ・全国ご当地マラソン
- ・日本巡礼文化発祥の道
- ・忍者ツーリズム
- ・百年料亭
- ・Industrial Study Tourism
- ・ONSEN・ガストロノミー ツーリズム
- ・郷土食探訪
～フードツーリズム～
- ・宙ツーリズム

平成31年度支援予定テーマ



ネットワーク化のイメージ



本事業で実施できる取組の例

1. 観光客のニーズや満足度を調査するためのアンケートやモニターツアー

- 観光客のニーズやターゲット層の把握等の基礎調査や満足度を検証し、地域資源を磨き上げるためのアンケートやモニターツアー

2. 観光客の受入体制の強化に係る取組

- 1の調査結果等で得られた知見を構成団体間で共有するマニュアルの作成
- 旅行商品の造成

3. 1の調査結果等を踏まえた情報発信

- 共同Webページ、パンフレット、マップの作成
- 各種PR（旅行博等への出展やSNS等を用いた情報発信）

4. ネットワーク拡大に向けた取組

- 同じテーマを観光資源とする団体や地域に関する実態把握のための調査
- シンポジウムやセミナーの開催

期待される効果

旅行者

- ・特定のテーマに関心の高い旅行者にとって**より魅力的な旅行を享受**

地域

- ・旅行者の複数地域への**来訪需要を創出**
- ・地域間で課題や**成功事例を共有**することによる、**効果的な観光振興策を推進**

酒蔵ツーリズム(日本酒蔵ツーリズム推進協議会)

<酒蔵ツーリズムとは>

酒蔵を巡り、蔵人とふれあい、彼らがつくる酒を味わい、その酒が生まれた土地を散策しながら食や文化、歴史を全身で楽しむこと。

観光庁では、平成25年3月より、日本産酒類を観光資源として活用し地域活性化につなげるため、酒蔵ツーリズム推進協議会を開催してきたが、平成28年度からは「テーマ別観光による地方誘客事業」を活用して、日本産酒類の酒蔵を観光資源として活用しようとする日本酒蔵ツーリズム推進協議会の取組を支援している。

H28～29年度の主な取組

1. モニターツアーの実施

- ・平成28年度：全2回実施（山形、長野・山梨）
- ・平成29年度：全2回実施（福井、千葉）

…旅行商品造成に向け、主要ターゲットと位置付ける高感度富裕層のニーズを把握した。

2. 受入体制整備

- ・受入体制標準化ツールの作成
（英会話例・ガイドパネルデータ等）
- ・通訳案内士向けセミナーツアーの開催（福島）

…外国人観光客を酒蔵が受け入れるにあたり、人員や言語という対応障壁の軽減を図った。

3. 共同プロモーションの実施

- ・共同PRサイトの構築
- ・ツーリズムEXPO等のイベント出展

…酒蔵ツーリズムに取り組む加盟団体や地域を対外的に情報発信し、認知度の向上を図った。

H30年度の具体的事業内容

1. 酒蔵ツーリズムのモデル地域推進事業

酒蔵だけでなく地域の観光資源（自然や歴史等）と連携させた酒蔵ツーリズムのモデル地域として、「山形県」と「北播磨」の2地域を選定。ツアー造成やプロモーションを実施した。

2. 会員共同プロモーションの実施

公式ホームページを酒蔵ツーリズムの情報ポータルとして一層整備を進めるほか、ツーリズムEXPO等のイベント・展示会への出展やセミナー開催を通じ、プロモーションを行った。

3. 外国人受入態勢・施策の標準化ツールの整備・普及

平成29年度事業で作成した酒蔵向け外国人受入体制標準化ツールを活用し、協議会員に対し周知・啓蒙を行った。



- 観光庁は、①文化庁・環境省と連携してわかりやすく魅力的な多言語解説文を作成できる英語のネイティブライター等の専門人材をリスト化し、②地域に派遣し解説文の作成を支援。及び、③解説文作成のノウハウを蓄積し、他地域へ横展開できるようガイドラインを作成。
- 文化庁においては世界文化遺産や国宝・重要文化財等について、環境省においては国立公園について、最先端技術も駆使しながら外国人に魅力ある観光ストーリーを多言語発信支援。

観光庁：地域観光資源の多言語解説整備支援事業

※Writer/Editorを派遣し、文化財の魅力ある多言語解説文の作成支援



※タッチパネル式解説板による案内
(日本語音声・多言語字幕)

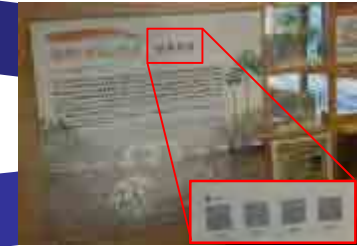


専門人材



- ①ネイティブ専門人材のリスト化
- ②解説文の作成費用 100地域程度
- ③ガイドライン作成

※Writer/Editorを派遣し、国立公園の魅力ある多言語解説文の作成支援



※2次元コードによる自然資源の多言語解説の整備（多言語音声・テキスト）

文化庁：世界文化遺産や国宝・重要文化財等

- ・ 地域の文化財を一体的に整備・支援
- ・ 観光資源としての価値を高める美装化への支援
- ・ 文化財の魅力伝える案内板・解説板の設置



環境省：国立公園34公園

- ・ 登山道やビジターセンター、トイレ等基盤的な利用施設の整備
- ・ 自然を活かした体験型コンテンツの充実、ガイド人材の育成
- ・ 国立公園の魅力伝える案内板・解説板の設置



訪日プロモーション事業

2020年訪日外国人旅行者数4000万人等の目標達成に向けて、欧米豪をはじめとした全世界からの誘客、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会後も見据えたプロモーションのさらなる展開を実施。
また、観光財源を活用し、グローバルキャンペーン等の先進的なプロモーションを実施するとともに、ICT・ビッグデータ等の分析・活用による個人の関心にあわせた情報を発信。

1. 戦略的な訪日プロモーションの実施

国別戦略に基づくプロモーションの徹底

- 【欧米豪市場】
国毎の市場特性を踏まえ、魅力ある**アクティビティ等の訴求力の高いコンテンツ**を中心としたプロモーションを実施。
- 【アジア市場】
リピーターを含め更なる誘客促進のため、**個々の旅行ニーズに応じたきめ細かなプロモーション**を実施。

新たな市場からの誘客促進に向けた取組の推進

中東や中南米等の**訪日インバウンドの成長が見込まれる市場**において、**JNTOの現地事務所の設置準備を進めるとともに、重点市場化に向けた市場調査や先行試行的なプロモーション等を実施**



＜現地消費者向け旅行博出展＞



＜海外広告宣伝の実施＞

2. グローバルキャンペーン等の先進的なプロモーションの実施

ウェブの閲覧・検索履歴等の分析により、その個人が**海外旅行に求める興味・関心（アウトドア等）**に応じた広告を展開（オンライン広告、メディア招請 等）



ターゲットの興味・関心に応じた広告展開

3. ICT・ビッグデータ等の分析・活用による個人の関心にあわせた情報の発信

- JNTO内外の**ビッグデータ**や**SNSの分析結果**等を蓄積・活用することで、プロモーションの効果や災害時の風評を迅速に把握し、更なる機動的なプロモーションにつなげる
- SNSの分析結果**を活用し、災害対応等の**安心安全情報をJNTOのSNS等で迅速に発信するとともに**、JNTOのウェブサイト上に、閲覧者の属性や関心に沿った**コンテンツを自動表示**



「VISIT JAPANトラベル& MICEマート 2018」における酒蔵見学を含むファムツアーを実施

〈概要〉

日本政府観光局が主催する国内最大のインバウンド商談会「VISIT JAPANトラベル & MICE マート2018」において、「酒蔵見学」をコースに組み入れた視察旅行を実施。訪日旅行を取扱う現地旅行会社に酒造見学を行ってもらうことで、「日本酒」を組み入れた訪日旅行商品の造成を促進。

見学のイメージ

コース：東北
 福島県喜多方市 『大和川酒蔵北方風土館』を視察
 日程：平成30年9月23日(日)～25日(火)
 参加人員：35名

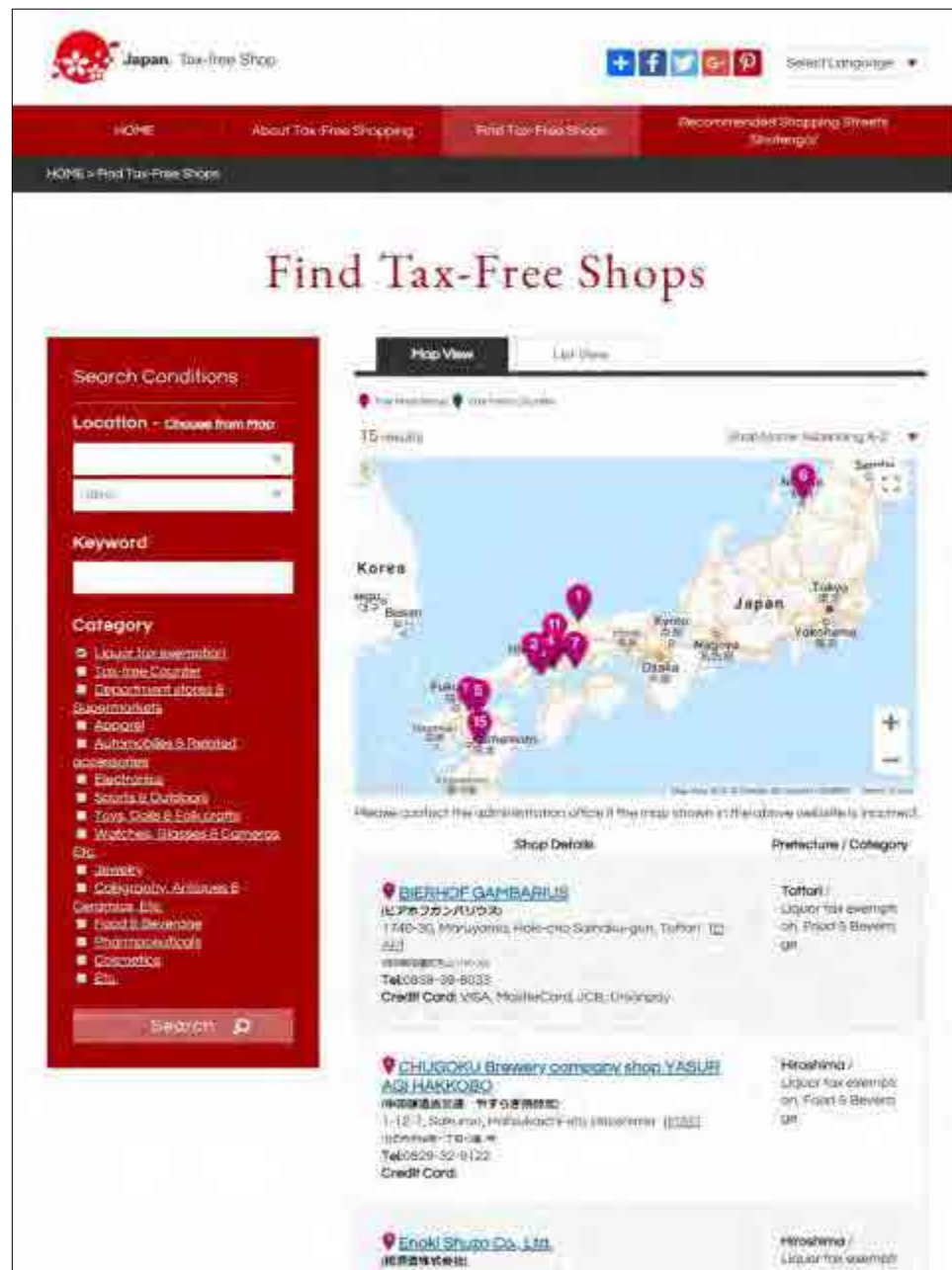


輸出酒類販売場に係る取組について



(JNTO Japan Tax-free Shopホームページ)
<https://tax-freeshop.jnto.go.jp/eng/index.php>

- JNTOが運営する外国人向け消費税免税店サイトであるJapan Tax Free Shopにおいて酒税免税制度に関するページを設置。また、検索ページでは酒税免税のカテゴリを追加。
- 外国人旅行者向け免税ハンドブックや、酒蔵訪問のコラム等も掲載しており、酒税免税制度の活用・周知に向けた取組を実施。



訪日外国人受入に関する酒蔵及び外国人への調査事業

概要

- 平成29年10月に訪日外国人向け酒税の免税制度が開始し、酒蔵ツーリズムの注目が高まっている。
- 本調査では、酒蔵ツーリズムの振興を図ることを目的に、酒蔵における観光客の受入実態や、外国人から見た酒蔵ツーリズムの課題を抽出することで、今後の酒蔵ツーリズム振興策を検討するために必要な基礎データを収集する。

調査内容

(a) 国内の酒蔵における訪日外国人旅行者の受入体制に関する実態調査

- 調査対象：全国各地に所在する外部PRを実施している酒蔵
(日本酒造組合中央会のPR名簿に登録している1,688酒蔵を対象)
※廃業および震災復興等により現在稼動していない酒蔵は除く
- 収集する情報
観光で酒蔵を訪れた訪日旅行者の受入体制整備に関する情報
 - ・ 酒蔵における日本産酒類の販売状況
 - ・ インバウンドを含めた訪問客の受入体制の実態 等

(b) 外国人の酒蔵ツーリズムに対する意識調査

- 調査対象：訪日外国人旅行者や日本に在住する外国人
- 収集する情報
外国人から見た酒蔵の観光資源としての魅力や可能性及び課題を抽出
 - ・ 日本産酒類への関心の有無
 - ・ 酒蔵ツーリズムの認知度
 - ・ 酒蔵への訪問有無及びその理由や要因 等

スケジュール

H29年11月上旬	公募
11月下旬	事業者決定
12月下旬～H30年1月	調査実施
1月～2月	データ集計・分析
3月	報告書作成
4月以降	関係団体へ調査結果の共有

泡盛の酒蔵における酒蔵ツーリズムの推進及びそれを通じた旅行消費額の増加、ひいては泡盛の販売量増加を図るため、泡盛の酒蔵における外国人旅行者受入体制のモデルケース形成を図る。

課題・背景

- 平成29年度の観光庁調査において、観光客の受入体制が整っている酒蔵は未だ少なく、体制が整っている酒蔵においても、外国人対応までできていない酒蔵が多数存在することが判明。
- 特に國酒の中でも泡盛については輸出量も少なく、海外における認知度が日本酒や焼酎に比べて低い。訪日外国人旅行者に対し泡盛の魅力を伝え、新たな旅行需要を喚起する必要がある。

事業内容

1. 外国人客対応ハンドブック、指差しシートの作成

…酒蔵内の販売店において外国人旅行者にも対応できるよう、外国語での簡単な接客フレーズや接客時の注意事項、免税制度や海外配送の情報をまとめた「ハンドブック」を作成。また、試飲の案内や、泡盛の味・特徴等について説明する際の補助ツールとして「指差しシート」も作成。

2. 販売店スタッフへの接客研修の実施

…外国人旅行者への心理的障壁を取り除くため、1で作成したハンドブック・指差しシートの使用方法や、外国人旅行者とのコミュニケーション方法について、講師を実際に酒蔵へ派遣し、販売店内において接客研修を実施。

3. 通訳案内士等への泡盛に関する講習会の実施

…実際に外国人旅行者をガイドする通訳案内士に対し泡盛の専門用語や予備知識を習得してもらうため、泡盛マイスターによる講習会を実施。泡盛についてのほか、沖縄の食文化や住環境等、泡盛の酒蔵が位置する地域について、総合的に講習を行った。

4. 外国人向けモニターツアーの実施

…沖縄本島および宮古島の計6酒蔵において、外国人旅行者向けにモニターツアーを実施。蔵内の見学や試飲等を行い、外国人が泡盛の酒蔵を訪問する際の課題等を抽出した。また、蔵内案内は事業3の通訳案内士向け講習会に参加した通訳案内士等が行い、座学で得た知識を活用させた。

多言語対応マニュアル・指差しツールの作成



スタッフ向け接客研修



研修風景 (崎山酒造廠)

通訳案内士向け講習会



講習会風景 (本島)

通訳案内士等による外国人向けモニターツアー



試飲の様子 (神村酒造)



見学の様子 (宮の華酒造)